

水戸市中心市街地活性化協議会

第2期水戸市中心市街地活性化基本計画（素案）の提案事業に対する意見

【プロモーション部会】

P19

■19 まちなか暮らしの魅力発信事業

【計画素案】

事業内容：移住希望者のニーズの把握に努めながら、中心市街地活性化協議会等と連携し、時代の流れに伴う価値観の変化を踏まえた情報発信やまちなか暮らしの体験事業を実施し、中心市街地への移住・定住を促進する。

【協議会提案】

事業内容：東京圏からの移住希望者や、県内で居住地検討中のニーズの把握に努めながら、中心市街地活性化協議会等と連携し、また、茨城県や商工団体農業団体と情報を密にしながら、時代の流れに伴う価値観の変化を踏まえた情報発信やまちなか暮らしの体験事業を実施し、中心市街地への移住・定住を促進する。

【理由】

ターゲットを具体化しつつ、現実的な対応策を用意することで、水戸市中心市街地を引っ越し先の選択肢に入るように情報発信していくという意思を明確にするため。

P24

■29 コンベンション誘致活動の推進

【計画素案】

事業内容：水戸市民会館等のコンベンション施設をPRしながら、全国規模の大会や会議をはじめ、新たなコンベンションを誘致し、中心市街地のにぎわいを創出する。

【協議会提案】

事業内容：水戸市民会館等のコンベンション施設をPRしながら、全国規模の大会や会議をはじめ、学会、展示会など新たなコンベンションを誘致し、中心市街地のにぎわいを創出する。

【理由】

具体的な活用方法を入れ、コンベンション誘致を進めてもらいたいため。

P27

■34 水戸の梅まつりの開催

【計画素案】

事業内容：歴史と伝統を有する梅まつりを開催することで、主要な観光資源である弘道館、偕楽園の魅力を発信するとともに、市内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいを創出する。

【協議会提案】

事業内容：歴史と伝統を有する梅まつりを開催することで、主要な観光資源である弘道館、偕楽園の魅

力を発信するとともに、市内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいを創出する。また夜・梅・祭をあわせて開催して、宿泊を促し、市内に長く滞在していただくことで、にぎわいの創出や回遊性の向上を図る。

**【理由】**

夜・梅・祭を追加することで、水戸の滞在時間が延び、にぎわい創出や回遊性の向上が更に図れるため。

P26

**■35 水戸まちなかフェスティバルの開催**

**【計画素案】**

事業内容：メインストリートである国道50号を歩行者天国として、市内活動団体を中心に様々なイベントやステージを開催するとともに、メインストリート沿道の商店街や中心市街地に立地する大型商業施設等と連携した回遊性事業をあわせて実施する。

**【協議会提案】**

事業内容：メインストリートである国道50号を歩行者天国として、市内活動団体を中心に様々なイベントやステージを開催するとともに、メインストリート沿道の商店街や中心市街地に立地する大型商業施設等と連携した回遊性事業をあわせて実施する。また、コロナ禍を踏まえたイベント実施の運営スタイルを考えるとともに、持続可能なイベントのボリュームにしていく事を考え、市民や地区が中心となって動ける運営方法を模索していく。

**【理由】**

このコロナ禍の時代に照らし合わせるとボリュームが大きすぎて、実施するか否かの話になってしまう。大変な時だからこそ商店街への救済措置が必要にもかかわらず、開催が出来ていない。

また、大きなイベントには出費も伴う。それを快く思われない市民がいてもおかしくはない。出費を抑えながら行えるイベントボリュームにする事により、0か100かの話しから脱する事が出来ると考える。

イベントが大きくなりすぎると、イベントを行うことが目的になってしまう。あくまでも、このイベントの目的は、中心市街地の活性化であり、イベントの波及効果が落とし込まなければならない。その為には、表通りに面している店舗や企業だけが参加をするのではなく、もっとミクロな視点が必要になる。裏通りにある魅力的なお店などにも協力を仰ぎ、水戸全体の魅力に繋げていく必要があると考える。

P31

**■43 弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくり**

**【計画素案】**

事業内容：弘道館・水戸城跡周辺地区においては、令和元年度に水戸城歴史的建造物である大手門、令和2年度に二の丸角櫓等が完成し、地区の魅力が高まっている。歴史的資源と弘道館東側広場を効果的に活用したイベントの開催等により、当地区への誘客促進を図る。

活性化に資する理由：当該事業は、弘道館・水戸城跡周辺地区においては、弘道館東側広場を活用したイベント等を開催し、当エリアに誘客促進を図ることで、まちなかへの来街者の増加につながるため。

**【協議会提案】**

事業内容：弘道館・水戸城跡周辺地区においては、令和元年度に水戸城歴史的建造物である大手門、令

和2年度に二の丸角櫓等が完成し、地区の魅力が高まっている。歴史的資源と弘道館東側広場を効果的に活用したイベントの開催等により、当地区への誘客促進を図る。また、休憩処を設置し、観光客が休めるスペースやおもてなし利用に使用する。

活性化に資する理由：当該事業は、弘道館・水戸城跡周辺地区においては、弘道館東側広場を活用したイベント等を開催し、当エリアに誘客促進を図ることで、まちなかへの来街者の増加につながるため。また、休憩所の設置は、観光客等に歩きやすい環境を整えておもてなしに利用するため。

#### **[理由]**

水戸学の道を歩くと休憩場所がないので、観光客等に歩きやすい環境とおもてなし利用に休憩処が活用できるため。

P36

### **■52 プロスポーツチームを通じた地域の活性化**

#### **[計画素案]**

事業内容：本市は、プロスポーツチーム「水戸ホーリーホック」「茨城ロボッツ」のホームタウンとなっており、市内外から多くの観戦客が本市を訪れる。「水戸ホーリーホック」や「茨城ロボッツ」と連携し、ホームゲームへの誘客促進を図るとともに、観戦客が、観光スポットをはじめ、中心市街地の飲食店等と連携し、まちなかへ訪れる回遊性事業を展開する。

#### **[協議会提案]**

事業内容：本市は、プロスポーツチーム「水戸ホーリーホック」「茨城ロボッツ」のホームタウンとなっており、市内外から多くの観戦客が本市を訪れる。「水戸ホーリーホック」や「茨城ロボッツ」と連携し、ホームゲームへの誘客促進を図るとともに、中心市街地の飲食店や駐車場管理業者等と連携し、観戦客が、観光スポットをはじめ、まちなかへ訪れる回遊性事業を展開する。

#### **[理由]**

観戦客の多くは車で来場するため、まちなかの駐車場と連携して、更なる回遊性を図るため。

P37

### **■55 学生サポーター事業**

#### **[計画素案]**

実施主体：水戸商工会議所

事業内容：市内の大学生や専門学校生で構成するまちづくり団体「C's（シーズ）」の活動を支援する。

#### **[協議会提案]**

実施主体：水戸商工会議所、学生団体

事業内容：市内の大学生や専門学校生で構成するまちづくり団体「C's（シーズ）」や学生団体の活動を支援する。

#### **[理由]**

C's（シーズ）以外にも、まちなかで活動する学生団体があり、事業内容によって支援することがあるため。

## ■56 文化コンテンツ強化プロジェクト

### 【計画素案】

事業内容：市民団体が主体となる「水戸クリエイティブウィーク」など、市民の主体的な芸術文化活動を促進するとともに、それらの活動を通して、本市の中心市街地における芸術文化の魅力の向上を図る。

### 【協議会提案】

事業内容：市民団体が主体となる「水戸クリエイティブウィーク」など、市民の主体的な芸術文化活動を水戸芸術館、水戸市民会館、水戸市と連携して促進するとともに、それらの活動を通して、本市の中心市街地における芸術文化の魅力の向上を図る。

### 【理由】

芸術文化活動の促進を官民一体となつて行うことで、中心市街地における芸術文化の魅力向上を図る相乗効果が期待できるため。

## ■57 まちなか職業体験事業

### 【計画素案】

事業内容：中心市街地の各事業所の協力のもと、小・中学生の職業体験を実施する。また、まちなか職業体験事業を通して、中心市街地の各事業所と市民とのつながりを創出し、事業後に中心市街地への来街する機会につなげる。また、将来、地元で働く人材を育成する。

### 【協議会提案】

取り下げ

### 【理由】

職業体験事業を実施する市民団体が未定で、事業実施の見込みがたたないため。

## ■60 まちの駅ネットワーク推進事業

### 【計画素案】

事業内容：中心市街地の情報を提供する機能を備えるとともに、人と人の交流を創出する場所となるなど、まちづくりの拠点となる役割を持つほか、来街者に対するおもてなしに取り組む。また、まちなかへ新たな人の流れを呼び込むため、まちなかの魅力的な店を紹介する媒体の構築や、創業者の支援等を行う仕組みづくりについて検討する。

### 【協議会提案】

事業内容：中心市街地の情報を提供する機能を備えるとともに、人と人の交流を創出する場所となるなど、まちづくりの拠点となる役割を持つほか、来街者に対するおもてなしに取り組む。また、まちなかへ新たな人の流れを呼び込むため、まちなかの魅力的な店を紹介する媒体の構築や、創業者の支援等を行う仕組みづくりについて検討する。加盟していなくても魅力的なお店を発信できるようなネットワーク上のシステムを構築する。それがやがて、新しくできるお店の一助になり、魅力的なお店が増えていき、中心市街地の新たな魅力となって活性化に繋がる事を期待する。

### 【理由】

新市民会館の完成は中心市街地にとっては最後の起爆剤となる…という心構えが必要となり、多くの人々が訪れることを想定して、中心市街地にどの様に落とし込むかを考える必要がある。

飲食店や物販店舗を探すのにSNSを使うのは日常のことになってきている。中心市街地には魅力的なお店が沢山ある。それを発信することが可能となるプラットフォーム的な役割を、まちの駅のサイト内に構築する。まちの駅からの発信は安心感や信頼度につながり来店する可能性が高まる。

本来は、商工会議所に参加している企業のみが「まちの駅」にも加入出来るが、今回開発している新しいHPではSNS連動型のシステムを構築する予定であり、SNSの利用については未加入の企業も利用できる事を想定している。システムを利用できることにより、中心市街地に新しくお店を構える方々にとっての心強いサポートとして、出店増加にも繋がればと思う。

出展する企業が増えれば、中心市街地の魅力にもつながり、新市民会館との相乗効果が期待できる。

P39

### ■61 泉町地区街並み景観向上・回遊促進事業

#### 【計画素案】

事業内容：水戸市民会館周辺地区において、景観向上と回遊促進を目的に、飲食店等と連携し、オープンテラス事業を実施するなど、歩いて楽しめる空間を形成する。

#### 【協議会提案】

取り下げ

#### 【理由】

本事業の当初の目的は、新市民会館建設に向けて、新市民会館脇の仮称並木通りを芸術館から京成百貨店、さらには千波公園西の谷まで、一体的に整備、植栽することで、街並みの景観向上を図り、歩きたくなるまちづくりを提案するための社会実験として実施していたものであり、市民会館の竣工にあわせて、周辺の環境整備が完了するのにあたり、事業を終了することとなったため。また、コロナ禍の影響などで周辺の飲食店は経営が厳しくなっており、協力が得られる状況ではないため。

P39

### ■62 みとまちなか寄席の実施

#### 【計画素案】

事業名：みとまちなか寄席の実施

実施主体：一般社団法人まちコンテンツ共創協会

事業内容：新たな文化コンテンツとして、コミュニティ機能をあわせ持つ寄席の専用施設を運営する。

活性化に資する理由：当該事業は、まちなかのにぎわい創出の新たな拠点として、寄席を新たな文化コンテンツとして発信することで、人を呼び込み、人々をつなげる場を創出し、中心市街地への来街者の増加につなげるため

#### 【協議会提案】

事業名：寄席文化創造事業

実施主体：水戸商工会議所、一般社団法人まちコンテンツ共創協会

事業内容：新たな文化コンテンツを創造するために、まちなかにある施設に著名な落語家を招いて寄席を開催する。また、寄席文化を根付かせるためにコミュニティ機能をあわせ持つ寄席の専用施設を運営

する。

活性化に資する理由：当該事業は、寄席を新たな文化コンテンツとして発信することで、人を呼び込み、人々をつなげる場を創出し、中心市街地への来街者の増加につなげるため

**【理由】**

水戸商工会議所では「水戸まちなか寄席事業」を実施し、まちコンテンツ共創協会では、「水戸みやぎん寄席」を運営しているので、両方の事業を含む内容にしたほうがいいため。

**【その他】**

P26

**■32 水戸の歴史・文化に親しむ機会の醸成**

**【計画素案】**

実施主体：水戸商工会議所、市民団体、水戸市等

**【協議会提案】**

実施主体：市民団体、水戸市等

**【理由】**

令和4年度をもって水戸歴史文化検定の実施が終了するため

## 【デザイン部会】

P12、18、34

### ■2, 16, 49 水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業

#### 【計画素案】

事業内容：商業，業務，住居，保育機能など，新たな都市利用の拠点を整備する再開発事業推進する。

#### 【協議会提案】

商業，業務，住宅，保育機能など，新たな都市利用の拠点を整備する再開発事業推進する。

【理由】住宅は人の居住を用途とする建築物を指し、表現に適しているため。

P38

### ■58 水府提灯ロマンティクス事業

#### 【計画素案】

事業内容：水府提灯を用いた街灯でつなげることにより，歴史を感じることができる水戸らしきのある景観を演出し，周辺エリアの魅力向上を図る。

活性化に資する理由：周辺エリアの魅力の向上を図るとともに，中心市街地への来街者の増加につながるため。

#### 【協議会提案】

事業内容：水府提灯を用いた街灯でつなげることにより，歴史を感じることができる水戸らしきのある景観を演出し，水戸駅地区周辺エリアの魅力向上を図る。

活性化に資する理由：周辺エリアの魅力の向上を図るとともに，中心市街地への観光客・来街者の増加につながるため。

【理由】水戸駅北口「お休み処」に水府提灯を設置しており、また、水戸駅および駅北口周辺において、水府提灯を設置する計画が進められているため。

水府提灯を設置することは観光客の増加にもつながるため。

P39

### ■63 中心市街地における Wi-Fi 環境の整備促進事業

#### 【計画素案】

活性化に資する理由：Wi-Fi 環境を整備するなど，通信環境を確保することで，まちなかの利便性が向上し，中心市街地への来街者の増加につながるため。

#### 【協議会提案】

活性化に資する理由：Wi-Fi 環境を整備するなど，通信環境を確保することで，まちなかの利便性が向上し，中心市街地への観光客・来街者の増加につながるため。

【理由】Wi-Fi を整備することは観光客の増加にもつながるため。

## 【産業創生部会】

P22

### ■24 まちなかりノベーション事業

#### 【計画素案】

活性化に資する理由：来街者が増加するとともに、空き店舗率の改善につながるため。

#### 【協議会提案】

活性化に資する理由：来街者が増加するとともに、新規開業数の増加にもつながるため。

#### 【理由】

目標指標が空き店舗率から新規開業数に変更になったため

P34

### ■50 居心地が良く歩きたくなるまちづくり

#### 【計画素案】

目標：にぎわいの向上

目標指標：歩行者通行量

活性化に資する理由：当該事業は、民連携事業により、中心市街地の魅力を向上させ、居心地が良く、日常的に歩きたくなる歩きたくなる空間づくりを進めることで、回遊性の向上や来街者の増加につながるため。

#### 【協議会提案】

目標：にぎわいの向上。居住の促進。事業所等の立地促進

目標指標：芸術文化及び歴史的拠点等における交流人口、歩行者通行量、居住人口、新規開業数

活性化に資する理由：当該事業は、民連携事業により、中心市街地の魅力を向上させ、居心地が良く、日常的に歩きたくなる空間づくりを進めることで、回遊性の向上や来街者の増加につながるため。また、まちなかの魅力が向上することで、歩行者通行量だけでなく、芸術文化及び歴史的拠点等における交流人口、居住人口、新規開業数の増加も期待できるため。

#### 【理由】

目標と目標指標については、ほかの効果も期待できるため。

## ■その他

### ・目標指標の新規開業数のカウントの仕方について

空き店舗補助金などの採択件数だけでなく、実際に開業した実数をカウントの対象にしてほしい。水戸市の政策の効果を図るのなら、申請数、採択数、開業した実数をすべて把握すべきである。

空き店舗調査を引き続き実施することによって、去年は空き店舗だった物件に開業して出店があればカウントすることができる。

### ・目標指標について

今後は、歩行者通行量ではなく、どれだけまちなかに滞在しているのかが重要になってくるので、滞在時間にすることを検討してほしい。Wifi がまちなかに整備されれば、Wifi から滞在時間のデータがとれるし、ビッグデータの活用にもつながる。



・ 施策の体系への基本方針の表示について

P7、P8の施策の体系について、どの事業がどの基本方針に対応しているのかわからないので、わかるように表示してほしい。

例：

事業区分		事業名	基本方針1	基本方針2	基本方針3
市街地の整備改善のための事業	1	水戸市バリアフリー基本構想に基づく事業の実施	○	○	